

件名	久留米市セーフコミュニティ再認証現地審査 防犯対策委員会	
日時	平成30年7月31日(火) 9:30~10:50	
場所	コミュニティセンター上津校区会館	
出席者	委員	猪飼委員長、江崎文子委員、佐藤委員、梶原委員、井手委員、榎尾委員、佐野委員、楢橋委員、松井委員、古賀委員、可部委員、甲斐田委員、大久保委員、井上委員
	事務局	安全安心推進課(今村課長、今村主査、霧久)
	視察	上津防犯協会 中島会長 他3名
欠席者	田中委員、砂川委員、江崎慶子委員	
傍聴者		
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 出席者紹介</li> <li>3. プレゼンテーション発表 「防犯対策委員会の取り組みについて」</li> <li>4. 質疑応答</li> <li>5. 活動視察 「上津校区防犯協会」</li> <li>6. 閉会</li> </ol>	
質疑 審査員	①	<p>報告ありがとうございました。犯罪予防は市民の中でも、安全の中でも関心の高いところでしょう。5年前の現地審査でも訪問していたが、犯罪予防に主体的に取り組んでいる姿に感銘を受け、韓国でもその取り組みは報告していた。今回さらにパワーアップし、世界でも指折りの積極的な市民参加型の防犯活動だと思いました。</p> <p>韓国のセジョン市の現地審査で、防犯では青パトの自転車バージョンを報告していました。小回りが利くことと、健康に良いところがありますが、もともとは久留米市の青パト活動を報告したもののアレンジなのです。</p> <p>&lt;質問&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 久留米市が国、県平均よりも犯罪件数が多いのは何故でしょうか。</li> <li>2. 性犯罪や、老人への犯罪など、年齢別でどのように取り組んでいますか。</li> </ol>
委員	①	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 について全国で見ると大都市圏では犯罪が多いです。久留米市も福岡県内で3番目の都市であるのであり、要因となると考える。</li> <li>2 について年齢層における犯罪対策は、高齢者へは特殊詐欺、性犯罪では女子学生が狙われている。高齢者へは偽電話詐欺への広報啓発をする。女性がいる学校へ性犯罪に対する防犯教室を開くなど犯罪を分析しながら強化しているところです。</li> </ol>

## 議 事 録

アドバイザー 委 員 ①	性的犯罪は具体的には何ですか？ 強制的性交等罪と強制わいせつの2つ。
アドバイザー 委 員 ①	痴漢は含まれているのか。 痴漢は含まれない。
審 査 員 ①	韓国ではミートゥームーヴメントが活発に広がっているが、日本ではどうなのだろう。韓国では社会的な動きとして、女性が声を上げているので日本ではどうかと思ったところでした。
審 査 員 ②	文化的な違いがあるのではないか。女性側から声を上げやすいかどうかといったような。スウェーデンでも裕福な層は声を上げるが、移民や、貧困層となるとそのような関心は薄いといった文化的背景があるのかも。
事 務 局	取り組みの中で全体的にターゲットにされている年齢層を教えて欲しい。 具体的な年齢層を絞って取り組んでいるのは特殊詐欺であり、高齢者に絞っている。性犯罪については若い女性、学生にアプローチした取り組みとしている。また、自転車盗難は学生をターゲットとしている。
審 査 員 ②	高齢者や女性、学生といった年齢別で詳しく見ていくと特徴が見えてくると思います。また、取り組みを広げ、継続していくためにはお金のことも考えていかないといけないと思います。 審査員①の言ったような自転車の活用もいいと思いますが、他に、ニュージーランドやスウェーデンではお酒の購入代金の中に地域の安全のための寄付金が含まれるところもあるのでそういう仕組みがあることを紹介します。 自転車盗難の件で、スウェーデンのある町では自転車にランダムに抽出しGPSを取り付けるものがある。それを追跡して盗難車の発見に繋がったことがある。また、この町の自転車にはGPSがついているとキャンペーンしていることで心理的に盗難を防いでいる。6か月で自転車盗難が60%減った。 交通安全で安全マップを作っているが、どこでいつ自転車を盗られているのかをマップに落とし込むと効果的だと思われる。

審査員 ②	質問だが、性的犯罪はいつ誰がどうやって犯罪が起きているのか。
委員 ①	性犯罪は今年の事件では 10 代後半から 20 代前半女性が深夜時間帯に道路上で被害にあっている。
審査員 ②	これは一人でいるときか。一人暮らしなのか
委員 ①	一人でバスを降りたとき。一人暮らしの方もいるがそれだけではない。
審査員 ②	一人一人に誰かをつけることはできないので、防犯カメラで抑制するのがいいだろう。
<p>P.32 事前審査後の対応が示されており、とても良い。  啓発活動は事実より誇張していくことも時には大切かと思えます。</p>	
審査員 ②	子供たちからの手紙が何にも勝るご褒美ですね
防犯協会	私たちはこれが一番うれしいです
審査員 ②	活発なパトロールしていることに情報提供ですが、パターン化しないパトロールが提唱されています。
防犯協会	上津では毎回違うルートでのパトロールを行っています。